

公益財団法人岐阜観光コンベンション協会 令和3年度事業計画について

事業運営方針

中国で発生した新型コロナウイルス感染症は、緊急事態宣言の再発令にも見られるとおり今年に入っても収束の先行きは未だ不透明で、本市の観光コンベンションを取り巻く環境は、依然として非常に厳しい状況にあります。

こうした中、当財団が取り組む事業の多くが延期や中止となる一方で、岐阜市や関係団体と連携し、国のG o T oトラベル事業とは別に岐阜市独自の宿泊割引クーポン事業『岐阜市・お得に美濃国宿泊キャンペーン』を実施したほか、ZOOMなどを使ったリモートによる商談会や情報交換会への参加など新たな取組みを進めてきました。

このたびのコロナ禍は、これまでの社会生活様式に大きな変容をもたらしましたが、当財団としては、“with コロナ”、“after コロナ”を見据えて、市が昨年策定した「岐阜市観光ビジョン」で当財団の役割として示された「マーケティング事業」、「地域マネジメント」、「M I C E誘致」、「情報発信・広報・プロモーション」などを具体化してまいります。

また、大河ドラマ「麒麟がくる」であらためて脚光を浴びた戦国武将を核にした歴史遺産を、昨年10月に開館した岐阜関ヶ原古戦場記念館などと連携し、本市観光の持続的な発展・振興にいかに関係付けていくかも大きな課題と位置づけています。

観光振興においては、おまかせパックの販売をはじめとする鶺鴒観覧船支援事業、キャラバンや観光展等を通じた観光客誘致事業、各種行事や協賛事業などの基本事業に加えて、統計情報やマーケティングに基づく戦略的な事業推進方策の検討、歴史遺産をはじめとする地域資源の観光活用、さらにコロナ禍を受けた緊急対策として、岐阜市や関係団体と連携したクーポン事業等による旅行関連需要喚起策の実施など、『with コロナ時代における観光振興策の推進』に取り組んでまいります。

コンベンション推進においては、コンベンション情報の収集、調査、分析事業や国内外におけるM I C E誘致事業、開催助成をはじめとする支援事業などの従来からの基本事業に加えて、オンライン上でのコンベンション誘致にも資するプロモーションビデオの制作や、感染防止対策備品の貸出による開催支援の実施など、『with コロナ時代におけるコンベンションの推進』に取り組んでまいります。

さらに、上記のほか、『情報発信力の強化』及び『財団運営基盤の強化』といった4つの柱を令和3年度の重点事業として取り組みを推進してまいります。

コロナ禍という未曾有の事態の中、関係機関や関係団体、賛助会員の皆様と財団が手を携えてこの難局を乗り越え、岐阜市の観光コンベンションが更なる発展を遂げることができるよう全力で取り組んでまいります。

1. with コロナ時代における観光振興策の推進

[公益目的事業]

1-1 宿泊クーポン等による旅行需要等喚起策の実施

➤国のG o T o事業をはじめ、岐阜県の動向等を踏まえて、旅行や飲食等の需要を喚起するため、市と連携したクーポン事業を実施する。

1-2 統計情報やマーケティングに基づく観光誘客事業展開手法の検討

➤「岐阜市観光ビジョン」に示されたDMOの設立に関する検討を進めるとともに、統計情報やマーケティングに基づく観光誘客事業の実施方策について検討する。

1-3 歴史遺産をはじめとする地域資源の観光活用推進

➤関係機関等と連携し、岐阜市が有する歴史遺産をはじめとする地域資源の更なる活用を図るとともに、ホームページ、SNS、Google マップなどの各種電子媒体による情報発信を推進する。また、これら資源も活かした各種ツーリズム事業を岐阜市と連携して推進する。

2. with コロナ時代におけるコンベンションの推進

[公益目的事業]

2-1 P V等を活用したM I C E誘致活動の推進

➤J C C BやJ N T O等が国内外でリアル又はリモートで開催する大規模商談会をはじめ各種誘致事業において、プロモーションビデオ（P V）やコンベンションWEBデータを活用しより分かりやすく積極的な誘致活動を実施する。

2-2 感染防止対策支援サービスの提供

➤体表面温度測定機（サーマルカメラ）、飛沫飛散防止パネル、ソーシャルディスタンス表示マットなどの感染防止対策備品をM I C E主催者に貸し出す支援サービスを実施し、誘致促進とともに開催時における感染拡大防止を支援する。

3. 情報発信力の強化

[公益目的事業]

3-1 M I C E誘致促進に資するP V等の制作

➤上記2-1を推進するため、誘致促進用のプロモーションビデオ（P V）を新たに制作するとともに、コンベンションWEBデータとして活用できるよう既存の誘致促進用CD-ROMを改訂する。

3-2 情報発信関連設備の整備

➤事業を推進するにあたり、リモートやオンラインを活用した財団の情報発信力強化を図るため、WEBカメラをはじめ配信に必要な機材を整備する。

3-3 WEBを活用した情報提供の推進

- 観光客やM I C Eの誘致促進等を図るため、財団ホームページで提供するコンテンツの見直しや提供手段の充実などにより、WEBを活用したより分かりやすく幅の広い情報提供を推進する。

4. 財団運営基盤の強化

[公益事業] [収益事業] [その他の事業]

4-1 収益事業の拡充に向けた検討

- 財団の持続的な財政基盤の強化に資するため、収益事業の今後のあり方を検討し、必要に応じて関係法令に基づく所要の措置を講じる。

4-2 効果的な業務推進に資する情報インフラの整備

- 財団業務をより円滑かつ効果的に推進し、業務効率の向上を図るため、パソコンやタブレット等のハード整備やコンベンション管理システムの更新整備を推進する。

基本事業

I 公益目的事業

1. コンベンション情報の収集、調査、分析事業

1) コンベンション情報の収集

①首都圏での情報収集

- 首都圏に拠点を置くコンサルタント会社に、コンベンション誘致のための定期的なセールス活動や情報収集業務を委託し、首都圏からの誘致に資する情報を収集する。

②広域的な情報収集

- 日本政府観光局（J N T O）や一般社団法人日本コンgres・コンベンション・ビューロー（J C C B）等、コンベンション関連団体が主催するリモート開催を含む各種会議に参加し、コンベンション開催主体である学会や団体の情報収集に努める。
- 賛助会員であるJ T B中部誘致協議会主催のリモート開催を含む各種講演会等に参加し、コンベンションに係る最新の情報収集に努める。

2) コンベンション情報の調査、分析

- コンベンション誘致の基礎となるコンベンション管理システムを更新し、誘致に資する情報の収集・管理及びこれを活用した効率的な営業活動を実施する。
- 長良川国際会議場、じゅうろくプラザと定期的に情報交換を行い、仮予約等案件について共同で誘致活動に取り組む。
- M e e t J a p a n商談会において海外キーパーソンに付き添いで参加した国内キーパーソンに対し、情報提供を依頼し誘致に繋げる。

3) M I C E誘致事業の宣伝

- M I C E誘致事業の活動状況に係る新聞、雑誌、ウェブサイト等を活用した情報発信により、当該事業の認知度向上を図る。

4) M I C E関係者情報連絡会の実施

- 会場施設、ホテル、運輸機関等に働きかけて定期的な会合を持つことで、情報交換等を通じた関係強化に努める。

2. コンベンション振興に関する事業

1) 国内コンベンション主催者に対する誘致活動

①PV等を活用したMICE誘致活動の推進（重点事業2-1）

- JCCBやJNTO等が国内外でリアル又はリモートで開催する大規模商談会をはじめ各種誘致事業において、プロモーションビデオ（PV）やコンベンションWEBデータを活用しより分かりやすく積極的な誘致活動を実施する。

②MICE誘致促進に資するPV等の制作（重点事業3-1）

- 上記①を推進するため、誘致促進用のプロモーションビデオ（PV）を新たに制作するとともに、コンベンションWEBデータとして活用できるよう既存の誘致促進用CD-ROMを改訂する。

③定期的な誘致活動

ア 首都圏における誘致活動

- コンベンション誘致に資する各種イベントに参加し、関係機関や各種団体との連携による誘致活動を実施する。
- 首都圏でのセールス活動を委託しているコンサルタント会社と共同で効率的な誘致活動を実施する。
- 在京のコンベンション企画運営会社（PCO）、旅行代理店のキーパーソンを訪問し、情報の収集や支援内容の周知を図る。
- IIME等東京で開催される誘致イベント終了後、関係機関と連携して誘致活動を実施する。

イ 名古屋地区での誘致活動

- 在名のPCO、旅行代理店を訪問し、情報の収集や支援内容の周知を図る。
- 名古屋大学、愛知医科大学等中部圏の大学への誘致活動を実施し、情報の収集や支援内容の周知を図る。
- 長良川国際会議場に仮予約を入れた主催者等に対し、共同で誘致活動を実施する。

ウ 岐阜地区での誘致活動

- 岐阜大学（工学部、応用生物科学部）、朝日大学（歯学部）を引き続き重点ターゲットと位置づけ、定期的に訪問し情報収集や支援内容の周知を図る。
- 簡易学会開催マニュアル（助成金システム含む）を作成し、上記重点ターゲット校等の研究室へ配付する。
- その他業界団体県支部等の地元窓口を対象に、関係機関や関係団体等と連携して誘致活動を実施する。

④MICEセミナーの開催

- 市内の大学関係者を対象にMICEセミナーを実施し、コンベンション施設やコンベンション開催に伴う支援内容等に関する情報を提供する。
- 岐阜市役所及び岐阜商工会議所の職員を対象にMICEセミナーを実施し、コンベンション誘致の重要性への理解を深める。

⑤広域的な誘致活動

- I M E 2 0 2 2 (M I C E 商談会)に参加し、M I C E 主催者との商談を行うとともに情報収集に努める。長良川国際会議場やホテル・旅館関係者の協力を得て、岐阜市でのM I C E 開催を推進する。
- コンベンション都市推進団体情報交換会への参加
地方7都市で構成する同情報交換会主催の情報懇談会に参加し、各地で開かれるコンベンション主催者との情報交換を通じて誘致活動を実施する。
 - 構成都市；(旭川、秋田、前橋、岐阜、姫路、松山、鹿児島)
- 首都圏で開催される「地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップ」へ参加し、より多くの首都圏所在の学会・協会事務局関係者との関係強化を図り、コンベンションの誘致拡大を図る。
 - 構成団体；(盛岡、つくば、新潟、松本、岐阜、びわ湖、和歌山、高松、沖縄)
- 日本最大級のビジネス展示会「メッセナゴヤ」に出展し、同じく出展している企業、団体へ「世界イベント村ぎふサポートプログラム」の説明を中心とする誘致活動を実施する。

⑥国内キーパーソン視察受け入れ事業

- 引き合いのあったコンベンション主催者など国内キーパーソンの視察に際して、各種手配や案内等の受入支援を行うことにより、岐阜市におけるコンベンションの開催促進を図る。

⑦岐阜大学との連携協定推進事業

- インターンシップの受け入れを行うほか、教職員を対象としたM I C E セミナーの実施を図る。

2) 海外コンベンション主催者に対する誘致活動

① J N T O 海外事務所等の活用による誘致活動

- 世界 14 カ所にある J N T O 海外事務所や日本観光協会の海外事務所並びに県内企業の海外事務所に対し、定期的に岐阜市のコンベンション施設情報や観光資源に関する情報を提供し、海外に向けて発信する。
 - ・ J N T O 海外事務所：ソウル、北京、上海、香港、バンコク、シンガポール、ジャカルタ、シドニー、ロンドン、フランクフルト、パリ、ニューヨーク、ロサンゼルス、トロント
 - ・ 日本観光協会海外事務所：台北

② M e e t J a p a n 商談会事業

- 同商談会に参加し、岐阜市の魅力を P R する。

③ 海外における M I C E 商談会

- J N T O M I C E 誘致部主催の同商談会に参加し、併せて現地旅行エージェントを訪問することで、M I C E 案件の情報収集と誘致活動を実施する。
候補地：ベトナム、タイ、台湾、シンガポール（時期未定）

④V J M M (ビジット・ジャパン・マイスマート) 参加

- 例年秋に開催されるツーリズムエキスポイベントのM I C E部門に参加し、M I C Eバイヤーとの商談を行う。

3) 会議、研修会

①J C C B総会等への出席

- 総会(6月)
- コンベンション・ビューロー部会(7月、12月)
- I M Eアドバイザリー委員会(8月、1月、3月)
- M I C E関連担当者研修(2月)

②中部コンベンション連絡協議会の開催

- 広域的なコンベンションの振興を図るため、中部地区17団体に構成される「中部コンベンション連絡協議会」の定期協議会に参加し、コンベンション情報収集及び意見交換を図る。(9月)
- 愛知・名古屋M I C E説明会へ参加し、学会主催者との商談を通じて岐阜市の魅力をP Rする。(1月)

4) コンベンション誘致素材の開発促進

①ユニークベニユ어의開発

- 先進都市の例を参考に、M I C E誘致に重要な要素であるユニークベニユ어의発掘に取り組む。

※ユニークベニユ어とは、歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場のことを指します。

5) 企業コンベンション関連事業

①世界イベント村ぎふ企業コンベンション誘致協議会の運営

- 企業のコンベンションやイベント等の開催を支援するため、岐阜県や長良川国際会議場とともに、「世界イベント村ぎふ企業コンベンション誘致協議会」を運営し、各種コンベンションの支援や助成を行う。

②企業コンベンション誘致活動の実施

- 企業コンベンション誘致パンフレット(外国版含む)を作成し、誘致P Rを行う。
- 名古屋・東京・大阪でP C Oや旅行代理店等に、「世界イベント村ぎふサポートプログラム」の説明会を開催するとともに、首都圏・東海・関西・北陸・静岡・長野地区等で訪問セールスを実施し、企業コンベンションの誘致に努める。
- 岐阜市及び近郊の企業、大学、団体を訪問し、サポートプログラムの説明を行うことにより誘致P Rに努める。

③展示会出展の有効活用

- 国内唯一の総合コンベンション見本市である「IME」及び東海地区企業が多数参加する異業種交流会「メッセナゴヤ」を情報収集のチャンスと捉え、「企業内会議」、「報奨旅行」等の情報収集に努めるとともに、参加企業に対して継続的な誘致活動を実施する。

3. コンベンションの支援に関する事業

1) コンベンション開催助成

コンベンション振興基金を活用し、岐阜市で開催される各種コンベンションに対し、規模や参加者数に応じ、助成金の交付や開催準備資金の無利子融資を行う。

①コンベンション開催助成金の交付

- コンベンションの開催及び誘致を図るため、コンベンション開催主催者に対し助成金を交付する。
(対象:岐阜県を含む4県以上、参加者100名以上)

②スポーツ大会開催助成金の交付

- スポーツ大会の誘致拡大を図るため、スポーツ大会主催者に対し助成金を交付する。
(対象:岐阜県を含む4県以上、参加者100名以上)

③無利子融資制度の運用

- 助成金交付対象のコンベンション・スポーツ大会主催者に対し、開催3年前から開催準備資金として、開催経費の10%以内100万円を限度に無利子融資を行う。

2) コンベンション開催支援

①感染防止対策支援サービスの提供(重点事業2-2)

- 体表面温度測定機(サーマルカメラ)、飛沫飛散防止パネル、ソーシャルディスタンス表示マットなどの感染防止対策備品をMICE主催者に貸し出す支援サービスを実施し、誘致促進とともに開催時における感染拡大防止を支援する。

②コンベンション主催者に対して

- パンフレット等の提供(主催者用)
 - ・コンベンション総合案内DVD(日本の真ん中で話そう)
 - ・岐阜市コンベンション施設ガイドブック
- タクシー歓迎ステッカー掲示および共通チケット発行
- JR岐阜駅前広場歓迎横断幕の掲出
- 歓迎プラカードの貸出し
- 土産品販売コーナーの出店案内(場所:コンベンション会場等)
- 法被の貸出し
- コンベンションマニュアル(支援と開催の手引)の提供
- コンベンション施設、宿泊施設、地元関係業者の紹介

- アフターコンベンション同伴者プログラムへの協力
- 観光ボランティア、通訳ボランティア等の紹介
- 感染防止対策備品の貸出し

③コンベンション参加者に対して

- 手提げバッグの提供
 - ・オリジナル紙製バッグ(有料)
 - ・ビニール製バッグ(無料)
- 文化観光施設割引入場券の提供
- 観光パンフレットの提供（日本語版及び外国語版）
 - ・岐阜城
 - ・ぎふ長良川の鶺鴒
 - ・岐阜市観光ガイドマップ
 - ・魅力いっぱい 岐阜市
 - ・ぎふガイドタクシー
 - ・絵はがき(岐阜城、ぎふ長良川の鶺鴒、信長)

4. 「あんびしゃす」の発行

- 機関紙「あんびしゃす」を年2回発行し、コンベンション主催者等に対し、当財団の事業内容を紹介するとともに、観光情報・コンベンション情報を提供する。
 - ・発行月：7月(Vol.65)、1月(Vol.66)
 - ・発行部数：4,000部×2

5. 観光客の誘致及び宣伝事業

1)国内観光客の誘致

①宿泊クーポン等による旅行需要等喚起策の実施（重点事業1-1）

- 国のG o T o事業をはじめ、岐阜県の動向等を踏まえて、旅行や飲食等の需要を喚起するため、市と連携したクーポン事業を実施する。

②統計情報やマーケティングに基づく観光誘客事業展開手法の検討（重点事業1-2）

- 「岐阜市観光ビジョン」に示されたDMOの設立に関する検討を進めるとともに、統計情報やマーケティングに基づく観光誘客事業の実施方策について検討する。

③歴史遺産をはじめとする地域資源の観光活用推進（重点事業1-3）

- 関係機関等と連携し、岐阜市が有する歴史遺産をはじめとする地域資源の更なる活用を図るとともに、ホームページ、SNS、Googleマップなどの各種電子媒体による情報発信を推進する。また、これら資源も活かした各種ツアーリズム事業を岐阜市と連携して推進する。

④誘客宣伝事業の推進

- 岐阜市が有する観光資源のPRや関係機関・団体に取り組む観光振興に資する各種事業のPRを機会を捉えて行うことにより、岐阜市の魅力を広く発信し、誘客を図る。

⑤教育旅行の誘致活動

- 教育旅行の取扱いを拡大するため、関東地区や関西地区の旅行代理店等に情報提供を行い、誘致を図る。

⑥「ツーリズムEXPOジャパン」への出展

- 日本最大の観光イベント「ツーリズムEXPOジャパン2021」に出展し、岐阜市への誘客宣伝活動を行う。(11月)

⑦観光キャンペーン、観光キャラバンの実施

・観光キャンペーンの実施

- 各種イベントに参加し、観光宣伝や誘客活動を展開する。

・観光キャラバンの実施

- 「ぎふ長良川の鵜飼」・「長良川温泉」・「岐阜城」をはじめとした岐阜市の宣伝及び観光誘客を図るため、報道各社や旅行代理店を訪問する。

⑧各種観光展（イベント）の出展及び誘客宣伝

- 首都圏で開催される観光展の他、名古屋、大阪などで開催されるイベントに出展し誘客宣伝活動を行う。

⑨名古屋鉄道と連携したキャンペーン事業等の推進

- 岐阜の魅力を、名古屋を中心とした中部圏の人々に知ってもらうため「岐阜まち歩き」キャンペーンを開催し、名古屋鉄道沿線からの誘客を図る。
- 「岐阜城きっぷ」を通年商品化し、販売促進を図る。

⑩スポーツ大会等参加者に対する観光案内

- 「第10回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」(4月)及び「第33回全国健康福祉祭ぎふ大会」(ねんりんピック/10-11月)の参加者に対して、割引券付観光パンフレットを提供する。

2) 海外観光客の誘致

①海外観光展・商談会・セミナーへの参加

➤岐阜市の認知度を向上させるため、J N T Oや昇龍道プロジェクト（中部運輸局）等と連携し、東南アジアなど現地及びリモートで開催される観光展・商談会に出展し、海外観光客の誘客を図る。

②インセンティブ・ツアーの誘致

➤国土交通省をはじめ、J N T O・中央日本総合観光機構・東海地区外国人観光客誘致促進協議会が主催する招請事業に参加し、外国人観光客の誘客を図る。

③各種インバウンド関連商談会への参加

➤国内でのインバウンド関連の商談会に積極的に参加し、海外の旅行代理店等を対象に岐阜市のPR活動を行う。

④外国人観光客の誘致活動の推進

➤岐阜市や観光関係団体等と連携し、岐阜市の魅力を海外に発信するとともに、外国人観光客の効果的な誘致活動の推進及び受け入れ体制の充実を図る。
➤ビジットG I F U協議会のプロモーションを強力に支援する。

3) 鵜飼を支援する各種事業

➤観光展や商談会等の機会を捉えて「ぎふ長良川の鵜飼」と「長良川うかいミュージアム」のPR活動を行う。
➤「ぎふ長良川の鵜飼」への誘客を図るため、旅行代理店へのPRや情報提供を通じて、旅行商品化に向けた取組みを推進する。
➤鵜飼開催期間中に募集される「長良川鵜飼を詠む」をテーマとした俳句を通し、「ぎふ長良川の鵜飼」をPRする。
➤岐阜長良川温泉旅館協同組合や観光関連団体と協力して、鵜飼の視察や研修を実施し誘客を図る。
➤鵜飼オフシーズンの観覧船民間活用事業を推進し利用者増に繋げる。

6. 鵜飼等への招請事業

➤国内外のコンベンション主催者や観光関係者を「ぎふ長良川の鵜飼」に招待し、コンベンション施設や観光スポット等のPRによる誘致活動を実施する。

・鵜飼開き招待	5月11日
・メディア&旅行代理店の招待	6月下旬（予定）
・コンベンション主催者・観光関係者招待	随時

7. 誘致資料・宣伝物等作成、広告掲出事業

①情報発信関連設備の整備（重点事業3-2）

➤事業を推進するにあたり、リモートやオンラインを活用した財団の情報発信力強化を図るため、WEBカメラをはじめ配信に必要な機材を整備する。

②WEBを活用した情報提供の推進（重点事業3-3）

➤観光客やMICEの誘致促進等を図るため、財団ホームページで提供するコンテンツの見直しや提供手段の充実などにより、WEBを活用したより分かりやすく幅広い情報提供を推進する。

③観光パンフレットの作成・発行

➤多言語に対応した観光マップ・観光パンフレットを整備し、JR岐阜駅構内観光案内所での配布等、誘客活動に活用する。

④営業用ツールの作成

➤主要な観光ルートや受入体制等を紹介するセールスツールを作成し、商談会等の誘客セールスに活用する。

⑤マスメディアを利用した広告宣伝（新聞、雑誌、テレビ等）

⑥インターネットを利用した広告宣伝

➤旅行サイトに岐阜市の観光情報掲載により観光客の誘致を図る。

➤岐阜市の最新情報を多くの人に提供できるよう各種SNSを活用して観光宣伝及び情報発信を行う。

➤財団ホームページの活用：賛助会員用フェイスブックの活用を図る。

⑦JR岐阜駅歓迎看板及び中部国際空港PRの掲出

➤JR岐阜駅構内・中部国際空港内に観光歓迎看板を掲出し、外国人観光客の誘客を図る。

⑧バスボディを活用した観光宣伝（岐阜バス、JR高速バスのラッピング）

⑨ノベルティグッズ等の作成、配布

⑩取材協力（新聞、雑誌、テレビ等）

8. 行事等の開催、協賛事業

1) 観光関連事業およびイベント

①財団主催行事

- ・道三公追悼法要（4月3日）
- ・鶺鴒安全祈願祭（5月11日）
- ・鮎供養（7月16日）
- ・鶺鴒供養（10月17日）
- ・鶺鴒乗船者プレゼント（5万人目、10万人目）

②後援・協賛・協力等行事

- ・高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン（4月）
- ・岐阜城パノラマ夜景（期間限定）
- ・長良川鵜飼開き（5月11日）
- ・長良川まつり（7月16日）
- ・手力の火祭・夏（8月8日）
- ・長良川おんぱく 2021 オープニングイベント（9月）
- ・信長公追悼式（10月2日）
- ・ぎふ信長まつり（10月2-3日）
- ・菊人形・菊花展（10-11月）
- ・池ノ上みそぎ祭（12月11日）
- ・玉性院節分つり込み祭（2月3日）
- ・梅まつり（3月）
- ・その他岐阜市内開催の撮影会等

9. ホームページ等による情報提供の充実

- 財団ホームページで提供するコンテンツの充実を図るとともに、多言語による情報提供を行う。
- 観光客やMICEの誘致促進等を図るため、上記のほか提供手段の充実などにより、WEBを活用したより分かりやすく幅の広い情報提供を推進する。

10. 効果的な業務推進に資する情報インフラの整備（重点事業4-2）

- 財団業務をより円滑かつ効果的に推進し、業務効率の向上を図るため、パソコンやタブレット等のハード整備やコンベンション管理システムの更新整備を推進する。

11. 「ぎふ長良川メイツ」の派遣・活用

- 岐阜の観光宣伝及び都市のイメージアップを図るため、R3年度を始期とする3名の「ぎふ長良川メイツ」の各種イベント・事業への派遣や、メイツによるSNS等での情報発信を行う。（第9期:令和3~4年度）

12. ぎふ観光フォトコンテスト&撮影会

- 岐阜市のイメージアップを図り、観光振興に活かすことを目的に岐阜市の観光資源をテーマに掲載したフォトコンテストを実施する。
また、「岐阜城と月」の撮影会を実施する。

1 3. 近隣自治体や観光団体等と連携した広域観光の推進事業

- 岐阜県や岐阜県観光連盟、中央日本総合観光機構等と連携し、広域的な観光PR、誘客宣伝に努める。
- 岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会、岐阜市・富山市観光物産交流推進協議会、信長公居城連携協議会等の活動に参加し、岐阜市のPR活動を行う。

1 4. ホスピタリティを醸成するための講座・セミナーの実施事業

1) ホスピタリティ講座の開催

- 一般市民を対象に、「おもてなしの心」を醸成するため、ホスピタリティ講座（おもてなしセミナー）を開催する。

1 5. 観光情報の収集・活用事業

- 岐阜市周辺地域の観光情報や、岐阜市で開催されるイベント等の情報を収集・整理し活用する。また、新しい観光資源の発掘や観光ルートの研究、産業観光や体験観光に関する情報収集に努める。

1 6. 観光施設等運営受託事業

1) 岐阜市観光案内所

- 各種観光情報の発信及び観光案内サービスの一層の充実に努め、県都のゲートウェイにふさわしい岐阜市観光案内所の運営管理を行う。

II 収益事業

1. 収益事業の拡充に向けた検討（重点事業 4-1）

- 財団の持続的な財政基盤の強化に資するため、収益事業の今後のあり方を検討し、必要に応じて関係法令に基づく所要の措置を講じる。

2. 手配旅行

1) 鵜飼観覧船事業

- 鵜飼観覧船乗船客数の増加を図るため、乗船料と弁当をセットにした鵜飼パック商品（おまかせパック・おまかせパックデラックス）を販売し「ぎふ長良川の鵜飼」を支援する。（開幕中の平日：特定日を除く）

2) その他旅行関連事業

- 国内外の旅行社より問合せを受けるランド手配を受注し、旅行業社の代理店としての役割を担い、誘客促進を図る。

3. 企画旅行

1) 募集型商品事業

- 財団企画の旅行商品をパッケージ化し、国内外の旅行社に販売する。（例：名鉄キャンペーンの商品開発）

2) 受注型商品事業

- 岐阜市が企画立案するプランを旅行商品化し、全国の旅行社に販売促進する。

Ⅲ その他の事業

1. 効果的な業務推進に資する情報インフラの整備（重点事業 4-2）

➤財団業務をより円滑かつ効果的に推進し、業務効率の向上を図るため、パソコンやタブレット等のハード整備やコンベンション管理システムの更新整備を推進する。

2. 救急救命講座の開催

コンベンション施設や宿泊施設等の賛助会員を対象に、AEDの取扱いや心肺蘇生法等の救急救命講習会を実施する。

3. 観光コンベンション功労団体・功労者、優良従業員の表彰

コンベンション及び観光事業の発展と振興に尽力し、その功績が特に顕著であった者や団体並びに賛助会員の優良従業員を表彰する。

- ・日 時：令和4年2月（予定）
- ・被表彰者：功労団体、功労者、優良従業員